

オロオムシ

【校是】『 やさしく かしく ねばり強く』



居小ホームページ ご覧下さい

この QR コードを携帯電話で読み込むと、居小の日々の様子をご覧頂けます。

学びの環境を整えて待つ～生きる力の育ちを願って

居武士小学校長 井坂 裕一

- ◆9月に入っても暑い日が続きました。2日には、「秋のロードレース」が開かれましたが、会場やコースにはミストシャワーが設置されていました。夏の様相を呈した大会でしたが、参加した子は「前回の自分を超えたい」と、とても意欲的に臨んでいました。今回の取組で、私が特に嬉しかったのは、ロードレース前に居小で行っている朝のマラソン練習、「居小マラソン」への取組ぶりでした。熱中症が心配される暑さだったため、練習機会はいつもより少なめでしたが、早めに登校して進んで校庭を走る子が、多くいました。その中には、以前は「ゆったり登校派」だった子も。気づけば「進んでやってみる」子へと変化した様子に感動しました。



講師を招き、千年に一度の大雨を想定した防災学習を行いました。災害の多い昨今…学びの機会を新設して、対応しています。

- ◆私たちは、ついつい結果がほしくなります。変わらない子を前に、ついつい「どうしてあなたは…」と思ってしまう。誰にも思い当たる節がある場面です。でも、変化のタイミングは人それぞれ。そして、みんな確実に成長していきます。ある意味、大人扱いしてあげることが重要なのだと思っています。たくさん子どもたちと接してくる中、私自身も結果を欲して、責め立てるような言葉を子どもにかけた時がありました。そういった失敗を経て、そう思います。
- ◆勿論、基本的なルールは社会で生きていく上で必須です。ですから、大人がしっかりと教え、時には叱ることも必要でしょう。当然ながら、大人自身もルールは守る。それが基本です。学校は当然ですが、家庭も一つの社会、集団生活ですから同じ事が言えます。寝る時間、お小遣い、家事の分担、スマホやゲームの扱い方…そういった約束事は守るよう、働きかけるべきです。
その上で、学べる機会や環境をしっかりと設けてあげる。でも、選択は子ども自身に任せてあげる。子どもですから、自力でできないこともあります。そんな時には大人がサポートを。結果、失敗してもよし。試行錯誤すればいいことです。何度も物事に働きかけて、そのうち子ども自身が体で覚えていって、結果何かができるようになる。そういうことの積み重ねが、「自分で生きる力」に結びついていくのだと思います。
- ◆それはもう、計算練習も音読もそう。音楽もそう。スポーツもそう。家事もそうです。子ども時代は、身体を使って覚えていく力が本当に鋭くて、強い時期です。動物的な感覚だと、日頃接していると思います。そんな吸収力満点の時期だからこそ、子どもたちが興味をもてるような種をまき、興味を示したことはやらせてあげる。喜怒哀楽ありつつも、待ちの姿勢を忘れずに接していく…そんな間に時は巡り、子どもはひょいと成長していくものなのかも知れません。その様子を見られることの嬉しさ…子どもは、本当に有り難く、素敵な存在です。
- ◆令和5年度の教育活動も折り返しを迎えます。職員・児童・保護者に加え、評議員のみなさんにも協力を得て、半期の振り返りを行いました。みなさんのご協力に感謝…概要を別紙に掲載致しますので、ご覧下さい。学校に対する好意的な声を本当にたくさんいただきました。ありがとうございます。職員一同、励みにして、後期の教育活動の充実に努めます。変わらぬご後援を、どうぞよろしくお願い致します！

宿泊学習

9月7日・8日の2日間、5年生は、訓子府小学校の同級生と一緒にネパール北見に1泊2日の宿泊学習に行きました。7日(木)は強風のため「カヌー・いかだ体験」と「キャンプファイヤー」が中止となり、「フロアカーリング」と「キャンドルの集い」を実施することとなりました。このような急な変更に対して、みんなで協力しながら臨機応変に対応し、楽しむことができることも経験です。「フロアカーリング」はとても盛り上がり、引率教諭から報告がありました。2日目は、「サイクリング」「釣り」「カヌー・いかだ体験」の3つのコースから1つを選んでの活動となりました。この日は、天候に恵まれ思う存分サロマ湖とその周辺の自然を満喫することができました。2日間の経験を糧に、後期は様々な場面で学校の先頭に立ち活躍してほしいと思います。



サイクリング



カヌー・いかだ体験



フロアカーリング

野外調査学習

9月15日(金)、全校による野外調査学習を実施しました。1・2年生は訓子府町の公共施設や商店を探索、3・4年生は會澤高圧コンクリート工場の見学、5・6年生は菅野養蜂場を見学しました。学習の後は、レク公園でお弁当を食べたり遊んだりしました。みんなで楽しくお弁当を食べる・みんなで元気いっぱい遊ぶ中で、協力する・協調する・思いやる、そしてみんなで楽しむことを学びます。そのような体験を通して子どもたちは成長していきます。今後も、様々な人たちと関わり合いながら成長できる機会をつくっていきます。



みんなでハイチーズ!



スポーツセンター見学



會澤高圧コンクリート工場見学



菅野養蜂場見学

収穫祭

9月21日(木)、子ども達が春から育てた野菜をたっぷり使って、特製カレーづくりを全校で行いました。A班「コーンたっぷりチキンカレー」、B班「にじいろチキンカレー」、C班「やさいチキンカレー」を作りました。どの班のカレーも特徴がありおいしかったです。



~ご協力ありがとうございました~

- ・朝の読み聞かせ会 …伊藤道子さん
…古沢美佳さん
- ・稲刈り体験 …島貫 亨さん
- ・秋の交通安全街頭指導 …後援会の皆様
- ・野外調査学習協力ありがとうございました
 - 1・2年：公共施設・商店街見学
 - 3・4年：會澤高圧コンクリート工場見学
 - 5・6年：菅野養蜂場見学

10月 行事予定表

- 2日(月) 後期始業式
- 7日(土) 中部地区P連研修会
- 12日(木) 朝の読み聞かせ会
- 13日(金) 交通安全街頭指導
絵手紙教室(3・4年)
- 17日(火) 5時間授業
学芸会係打ち合わせ①
- 24日(火) 5時間授業
学芸会係打ち合わせ②
- 25日(水) 5時間授業
学芸会児童観覧日
- 27日(金) 学芸会前日準備
- 29日(日) 学芸会
- 30日(月) 振替休業日

令和5年度居武士小学校学校評価結果(前期)

項目	No.	職員評価項目	今年度前期		今年度前期		関連児童評価項目	今年度前期		今年度前期	
			今年度前期	昨年度末	今年度前期	昨年度末		今年度前期	昨年度末		
目指す子どもの姿	1	子どもたちは、3つの「あ」(気持ちの良い挨拶・自分の身を守る安全・生活にけじめをつける後始末)に努めている。	△	△	子どもは、家でも、学校でも、地域でも、挨拶や安全、生活にけじめをつける後始末に気をつけて生活している。	△	△	自分からあいさつをしている。	○	○	
	2	基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底により、子どもたちの規範意識に高まりが見られる。	△	△	授業参観などから、学習のきまりを守って勉強しようとする子どもの意識が見られる。	○	○	授業中は、次のことをがんばり一生懸命勉強している。	○	○	
								先生や友だちの話をしっかり聞いている。	○	○	
								自分の考えを積極的に伝えようとしている。	○	○	
								ノートを丁寧な字で書いている。	○	○	
	3	板書・ノート指導、読み書き計算の重視、言語活動の充実により、基礎基本の力や主体的に学ぶ力が育ってきた。	○	○	子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。	◎	○	学校での勉強は分かりやすい。	◎	○	
											子どもは、読み書き計算を中心に基礎的基本的な学力や表現力を身につけている。
4	子どもたちは、朝読・昼読・家読に進んで取り組んでいる。	○	○	子どもは、家読に取り組んでいる。	△	△	進んで本を読んでいる。	○	△		
5	子どもたちは、宿題や家庭学習を継続し、復習や予習、発展的な学習などに取り組んでいる。	△	○	子どもは、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる。	○	△	毎日、宿題や家庭学習に取り組んでいる。	○	○		
6	日常的な体力づくりにより、運動に対する意欲、体力に高まりが見られる。	○	○	子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。	◎	○	歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。	◎	○		
7	子どもたちは、一人ひとりの活動の高まりを認め合うこと(共感的理解)により、自己存在感や有用感を実感できている。	△	△	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	○	○	困った時や悩んだ時、先生はきちんと相談にのってくれる。	◎	○		
				学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらを伸ばすように努めている。			◎			○	
				子どもは自己存在感や有用感を感じ、学校生活を楽しんでいる。			○			○	
				学校生活や家庭生活を通して、自分や人のよさを認め、大切にすることが育ってきている。	○	○	自分のよい所を学習や生活に生かしている。	○	△		
教育活動等	8	月毎、教科毎にバランスのよい授業時数を確保し、適切に指導している。	○	○							
	9	研修活動に主体的に取り組み、指導方法の工夫改善に努めている。	○	○							
	10	道徳の時間はもとより、全教育活動を通じて道徳教育の充実を図るとともに、いじめを許さない学校風土の醸成に努めている。	○	○	学校は、児童の悩みやいじめなどに親身に応じ、適切に対応している。	○	○	仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしている。	◎	○	
	11	集団の一員としての自覚、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成のため、学級活動や学校行事、児童会活動等の充実を図っている。	○	○							
組織運営	12	各分掌が連携を取り、効率的に学校運営を進めている。	○	○							
	13	教務を中心に学校運営に参画できている。	○	○							
環境育	14	教材・備品・図書等について計画的に整備が進められている。	◎	○							
開かれた学校づくり	15	町内幼・小・中・高校と相互交流を深めるとともに、必要に応じて教育機関との連携に心がけている。	○	○	学校は、幼・小・中学校と連携をとり、交流学習や教育活動の充実に努めている。	○	△				
	16			学校は、学校運営協議会と連携して教育活動を推進している。	○	○					
教職員の育成	17	人事評価シートの目標が適切であり、改善に向けて努力している。	○	○							
	18	効率的な業務推進に努めている。	○	○							
	19	服務規律を遵守している。	◎	◎							
家庭教育	20			家庭では、朝食を必ずと摂ることやゲームをする時間、学習時間など生活リズムについて話し合っている。	○	○					
	21			家庭では、子どもが家庭でも読書に親しむよう声かけをしたり、図書館や移動図書の活用を促すなど、読書環境の充実に努めている。	△	△					

* アンケート各項目の平均を以下の計算式により算出し、◎～2.5以上 ○～2.0以上2.5未満 △～2.0未満で評価しました。
 平均=(Aの人数×3+Bの人数×2+Cの人数×1+Dの人数×0)÷総人数(不明は除く)

教職員アンケート結果より

I 成果

- ①教材・備品・図書等について計画的に整備が進められていること。
- ②教職員が服務規律を遵守していること。

II 課題

- ①挨拶、安全、後始末の定着が十分ではないこと。
- ②基本的な学習ルールや聞く姿勢の徹底が十分ではないこと。
- ③宿題や家庭学習の継続が十分ではないこと。

今後に向けて

- ◎挨拶については児童会との活動とも連携し、あたたかな人間関係の構築に努めていきます。今後も家庭、地域と連携して指導を継続します。
- ◎基本的な学習ルールについては、全学級で共通した取り組み（次の授業の準備をしてから休み時間とする。筆入れを机の上に置かないなど）を行い、定着が図られてきています。今後も、学習ルールの徹底を図っていきます。
- ◎宿題や家庭学習の取組については、端末の活用も取り入れながら充実を図っていきます。

児童アンケート結果より

I 成果

- ①学校での勉強は分かりやすいこと。
- ②歩いて登校したり、体を使って遊んだりしている。
- ③困ったときや悩んだとき、先生方はきちんと相談にのってくれること。
- ④学校に行くのは楽しい。
- ⑤仲間はずれやいじめをしないで、自分や友だちを大切にしていること。

今後に向けて

- ◎成果として見られた点については、この評価が継続できるように指導を続けていきます。
- ◎読書の取り組みについては、子どもたち自身の評価は上向きですので、子どもたちの興味・関心を引き出せる読書環境を充実させていきます。
- ◎「自分のよい所を学習や生活に生かしている。」の評価で改善が見られました。今後も、子どもたちが思考・判断する授業づくりを進めていきます。

保護者アンケート結果より

I 成果

- ①子どもは、学校での勉強が分かりやすいと言っている。
- ②子どもが読み書き計算を中心に基礎的な学力や表現力を身に付けていること。
- ③子どもは、健康に気を配り、運動や遊びに興味を持って取り組んでいる。
- ④学校は、児童の個性や能力を適切に見取って評価し、それらをさらに伸ばすように努めていること。

II 課題

- ①3つの「あ」に気を付けて生活することが十分でないこと。
- ②家庭での読書の声かけや図書館の活用など、読書環境の充実に努めることが十分でないこと。

今後に向けて

- ◎3つの「あ」の指導については家庭や地域と協力し、三者が一体となって今後も粘り強く指導を進めます。
- ◎読書習慣の充実については、今後も家読の資料等をお伝えしながら、学校と家庭の連携をより推進していきます。

学校運営協議会居武士小学校部会より

I 成果

- 昨年度後期の評価と比較すると、全般的に改善が見られ良好な状態にある。
- いじめ等のなやみを伝えられやすい人間関係づくりを今後も進めていってほしい。
- 読書習慣の定着について、学校も家庭も取組を進めている。
- 訓小との交流が盛んになり、中学校進学等の不安が軽減されている。今後も交流を進めていってほしい。

II 課題

- 職員評価で「目指す子ども像」に関わる評価が低かった。
- 日常的な友達とのトラブルについての対応について今後も親身に指導や支援を行ってほしい。
- 放課後、子どもは忙しすぎてゆっくり読書をする時間をとることができない。

今後に向けて

- ◎児童、保護者からの声をしっかり受け止め、職員間で情報を共有し、適切に対応できるよう改善に努めます。